

鬼ヶ岳の準備に行きました

歴史の深い、自然林の素晴らしい山です。ササユリも背丈が1メートル以上のものもあり、お花も3輪や4輪もあるものがありビックリ。立派な大きなお花に超感動。下山コースの広葉樹の林も素晴らしかった。

◆歴史・言い伝えなど

※大虫神宮 社跡 の大広場で、毎年8月15日に火祭りが行われる

※紫式部は、越前の国守となった父・藤原為時と武生で1年半暮らしている。

白鬼展望台

夜な夜な里に出ては品物を盗み、女子供をさらっては喰い荒し、里人に恐れられた白鬼が出没した処です。この白鬼も悪運つき逃げる道中里人達により殺されました。

現在の鯖江市の白鬼女橋の処です。

大鬼展望台

白鬼の帰りを待ちわび乍ら大鬼(赤鬼)が悪計を考えた処ですが、此の鬼も里人達に追われ、日本海の方へとおわれ海辺にて殺されました。

現在の敦賀市赤崎海岸です。



大虫神宮 社跡

御祭神は南越前ひやくの神、天津日高火子徳徳出身尊(神武天皇の祖父神)

尊が丹生の地にこられ南越の土曜を討伐せられ耕地を開発して、九州の日向の国に帰られるに当り、御子の武位起命を丹生の地に止めて後を託して、満珠千珠二つの玉の徳を成すと共に、丹生の軍の天真名井を移そう、この「三つの宝胎は天地と共に尽きることがない」と仰せられた。こゝに武位起命は御父の尊霊を丹生ヶ嶽の峰に祀り自ら神主となられたのが、この神社の創始である。朝廷では崇神天皇の御宇七年(約千七百五拾年前)全国に悪疫が流行し、続いて垂仁天皇の御代二十六年、国中に蝗虫多く発生し、五穀人畜に害するを以て、勅使大伴建武日命を当社に参伺せられ国民挙げて当社に祈願するに蝗虫悉く追滅、五穀豊作せし神徳尊び給い、勅命にて今の宮地に遷宮し、虫除守護の神威を尊み大虫大明神の称号を賜る。

この聖地に残る大虫地区社友会の尽力により、龍神社を再建毎年八月十五日、雨乞神事松明登山行事が行はれる様になる。又社伝によればいつの世からか赤鬼、白鬼の出没により里人が恐れられ、いつしか鬼ヶ嶽と云われる様になったと云う事です。(略述)

◆トレッキングコースの様子

登りは、眺望を楽しみながら、自然を楽しみながら、歴史を楽しみながらの山歩。下りは、素晴らしい広葉樹の緑陰ウォークを楽しみます。



登山口に咲く
大きなササユリ



整備された登山道
地元の方」のお心に感謝



小鬼展望所



眺望



大鬼展望所



鬼ヶ岳山頂①



②



下山①



②



③

◆自然観察



モリアオガエルの卵



ササユリ①



②



ナツハゼ



ノギラン



ササユリ



アクシバ



ササユリ



ササユリ



ササユリ



ササユリ